

授業概要

科目名	リハビリテーション概論						授業の種類	講義	必修・選択		必修
授業回数	8	回	時間数	15	時間	1	単位	配当学年時期	1年	前期	
【授業の目的・ねらい】 言語聴覚士が行うチーム医療に必要な知識と役割および他職種連携について理解できる。 国家試験に合格できる力を養う。											
【実務者経験】											
【授業全体の内容の概要】 リハビリテーションの理念や概念とチーム医療における連携の重要性を理解できる。医学的、社会的、職業的、教育的リハビリテーションについて理解できる。国家試験に則した基礎的知識を身につける。											
【授業終了時の達成課題（到達目標）】 言語聴覚士が医療従事者として知っておくべきリハビリテーションについての基礎的事項を理解し、説明することができる。											
回数	講義内容									準備物(教材)	
1	チーム医療論① 学科間交流演習を通して他職種連携を理解できる。										
2	チーム医療論② 学科間交流演習を通して他職種連携を理解できる。										
3	チーム医療論③ 学科間交流演習を通して他職種連携を理解できる。										
4	チーム医療論④ 学科間交流演習を通して他職種連携を理解できる。										
5	リハビリテーションの理念と概念を理解できる。										
6	教育、職業、社会、地域、医療リハビリテーションについて理解できる。										
7	ICFに則したリハビリテーションについて理解できる。										
8	リハビリテーションについて基礎的な知識を整理して理解できる。										
	定期筆記試験										
【使用教科書・教材・参考書】 『言語聴覚士テキスト』第3版 医歯薬出版											
【準備学習・時間外学習】 講義の復習が必要です。 国家試験過去問の自己学習が求められます。											
【単位認定の方法及び基準（試験やレポート評価基準など）】											
試験の結果を100点満点として成績を評価する。 試験はレポートの評価を50点、定期試験50点として合計100点とする。 60点以上の場合に科目を認定する。											